

大腸憩室出血治療のため入院治療を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 消化器・肝臓内科 では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	当院における大腸憩室出血の SRH 同定率に関する検討 ～2nd look 内視鏡の有用性～
【研究実施期間】	倫理委員会承認日～2026 年 10 月 31 日
【研究実施機関・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 消化器・肝臓内科 研究責任者 藤井 宏行
【対象となる方】	西暦 2020 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日に消化器・肝臓内科にて 大腸憩室出血の診療のため入院し、治療を受けた方 257 名
【研究の意義、目的、方法】	当院で大腸憩室出血の治療を受けられた患者様の背景や治療法、治療効果などを検討することで、患者さんの病状に応じた適切な治療法選択などに関しての考察を行います。 SRHとは「直近で出血した痕跡」のことで、同定できれば適切な部位に治療を行えます。また 2nd look とは初回浣腸で緊急内視鏡検査を行い SRH を同定出来なかった患者さんに、後日腸管洗浄液を内服して詳細観察を行う大腸内視鏡検査のことです。
【利用する情報の種類】	大腸憩室出血の診療に関する診療記録、臨床検査データ(血液)、診断用画像(大腸内視鏡や CT)
【個人情報の保護】	研究に際して、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人が特定できる情報は収集しません。また、研究の結果を公表する際も個人が特定できないよう配慮いたします。
【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者：消化器・肝臓内科科 藤井 宏行 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）